

〔科目名〕 仏教の思想	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 教養
〔担当者〕 松本知己 Matsumoto Tomomi	〔オフィス・アワー〕 時間:授業の前後、休み時間など随時。 場所:教室、廊下、非常勤講師控室など。	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p> 仏教は、紀元前5世紀前後のインドで成立した宗教である。朝鮮半島や中国を経て日本に伝来して以来、社会の要請に伴って変容しながら独自の発展を遂げ、仏教は日本人の精神世界に大きな位置を占めてきた。本講義では、我々にとって「内なる他者」である仏教の思想史的理解を目的として、その基本構造と、展開の多様性を学ぶ。 </p> <p> 前半は、インド仏教の歴史を概観し、仏教思想の基本を解説する。後半は、仏教文献の漢訳など、中国を中心とする漢字文化圏における受容の特質を確認する。その上で、各時代における仏教者の思想と実践を紹介しながら、日本仏教の形成と展開の過程を明らかにしてゆく。随時、政治状況、文化事象との関連や、神道など他思想との交渉にも言及する。全体を通じて、日本人にとって仏教とは何であったか、そして何でありうるか、ということを理解し、現代に生きる私たちと宗教との関係を考察する契機にしたい。 </p>		
〔授業科目群〕・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕 <p> 本科目は、信仰を前提とせず、仏教を一つの思想、あるいは文化現象として捉え、その成立と展開を学ぶ。古来より日本文化に溶け込んでいる仏教への理解を深めることは、自身のアイデンティティを確認することにもつながる。 </p> <p> 経済学や経営学を学ぶという点では、経済的な活動は人の営みに他ならないので、人間という生き物についての理解が必須である。宗教は、人間の世界観や価値観の基盤をなすと共に、その願望や欲望の受け皿にもなってきたのであり、人間存在の合わせ鏡ともいえる文化現象である。世界には様々なタイプの宗教、思想が存在し、人々との関わり方も様々である。日本の伝統的な宗教の思想構造を理解し、歴史を知ることで、宗教的、思想的背景の異なる人々の思考様式を、より深く理解することができるようになるだろう。 </p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p> 最終目標 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏教思想の基本的な構造を理解する。 ・ 日本仏教の特質を、現代に生きる我々自身との関連で理解する。 <p> 中間目標 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インド・中国・日本における仏教の歴史的な推移を理解する。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p> 受講者の理解を深めるため、随時学習内容のまとめを行う。後方の席の受講者にも配慮して、できるだけ見やすい大きな文字で板書する。また、期末レポートの題目は、できる限り早めに告知する。 </p> <p> その他、要望等については柔軟に対応するよう心がける。 </p>		
〔教科書〕 <p> 教科書は用いない。毎回資料を配付する。 </p>		
〔指定図書〕 <p> 宮元啓一『わかる仏教史』(角川ソフィア文庫、2017) 末木文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ』(新潮文庫、1996) </p>		
〔参考書〕 <p> 平川章『インド・中国・日本 仏教通史』(新版) (春秋社、2006) 菫輪頭量編『事典 日本の仏教』(吉川弘文館、2014) </p>		

<p>〔前提科目〕 なし。」</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>3分の2以上の出席を前提に、期末のレポート(60%)と平常点(40%。毎回提出してもらおうリアクションペーパーのコメントなど)によって総合的に評価する。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>A 80点以上 B 80点未満～70点以上 C 70点未満～60点以上 D 60点未満～50点以上 F 50点未満</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>仏教は世界宗教であり、歴史的にも実に多様に展開してきた。しかし思想としての基礎をふまえた上でなければ、その多様性への理解がなかなか進まない。予習は特に求めないが、毎回の講義後は、指定図書や随時紹介する参考文献を読んで、復習する時間を作ってもらいたい。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): 総説 内 容: 講義の目的と概要、学習方法、評価基準などの説明</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 宗教類型論から見た仏教 内 容: 仏教を含むインドの宗教・思想と、世界の諸宗教(特にセム的一神教)との比較</p> <p>教科書・指定図書</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): インドの宗教と思想① 内 容: インド宗教思想史の概観</p> <p>教科書・指定図書</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): インドの宗教と思想② 内 容: バラモン教、ヒンドゥー教の思想と神々</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 仏教の成立① 内 容: 釈迦(ゴータマ・シッダールタ)の生涯</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓『わかる仏教史』第I章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 仏教の成立② 内 容: 真理観(仏教は何を目指すのか)</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓『わかる仏教史』第I章</p>

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 仏教の成立③ 内 容: 実践論(仏教者の修行)</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅱ章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 仏教の成立④ 内 容: 仏教教団の構成と戒律</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅱ章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 部派仏教の成立 内 容: 釈迦死後の教団分裂と諸部派の成立、展開</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅲ章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 部派仏教の教理 内 容: 部派の中で最も有力な説一切有部の思想</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅲ章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の起源と成立 内 容: 「思想運動」としての大乘仏教</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章1「初期大乘仏教」</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教經典の世界 内 容: 大乘仏教の思想を説示する經典群の特徴</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章1「初期大乘仏教」、2「中期大乘仏教」</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 空の思想① 内 容: 大乘仏教の哲学的基盤となった「空」の思想</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章3「大乘仏教の哲学」</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 空の思想② 内 容: 『般若心経』を読む</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 唯識派の思想① 内 容: 「空」の理論化、体系化を目指した唯識思想(その一)</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章3「大乘仏教の哲学」</p>
第16回	<p>テーマ(何を学ぶか): 内 容: 「空」の理論化、体系化を目指した唯識思想(その二)</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章3「大乘仏教の哲学」</p>
第17回	<p>テーマ(何を学ぶか): 浄土教 内 容: 仏教思想における浄土教の位置付けとその後の展開</p> <p>教科書・指定図書</p>
第18回	<p>テーマ(何を学ぶか): 密教 内 容: 密教とは何か、その思想と実践。あるいは仏教と呪術。</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章4「密教と後期大乘仏教」</p>
第19回	<p>テーマ(何を学ぶか): 中国人と仏教 内 容: 儒教をはじめとする中国の思想・宗教と仏教の関係</p> <p>教科書・指定図書</p>

第20回	<p>テーマ(何を学ぶか): 中国仏教の特質 内 容: 中国人の主体的な仏教受容</p> <p>教科書・指定図書</p>
第21回	<p>テーマ(何を学ぶか): 最澄の思想 内 容: 日本仏教の母胎となった日本天台宗の教学</p> <p>教科書・指定図書 末木文美士『日本仏教史』第Ⅱ章「密教と円教」</p>
第22回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本の密教 内 容: 空海の真言密教(東密)と天台の密教(台密)</p> <p>教科書・指定図書 末木文美士『日本仏教史』第Ⅱ章「密教と円教」</p>
第23回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想① 内 容: 法然の専修念仏(浄土宗)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第24回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想② 内 容: 法然の門流と親鸞の思想(浄土宗、浄土真宗)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第25回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想③ 内 容: 日本の浄土教における二つの流れ(観念・観想の念仏と称名念仏)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第26回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想④ 内 容: 日蓮の法華教学(唱題思想)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第27回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想⑤ 内 容: 禅とは何か、道元思想</p> <p>教科書・指定図書</p>
第28回	<p>テーマ(何を学ぶか): 仏像の起源と日本的展開 内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第29回	<p>テーマ(何を学ぶか): 近代の知識人と仏教 内 容: 田中智学の日蓮主義と宮沢賢治。夏目漱石と仏教</p> <p>教科書・指定図書</p>
第30回	<p>テーマ(何を学ぶか): 全体のまとめ 内 容: 講義の総括と補足。日本人と仏教</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>期末レポートの提出。試験は実施しない。</p>